

令和5年度地域イノベーション創出に向けた実践的教育研究推進プログラム(地域実践型リカレント教育講座)採択一覧

No.	部局名	代表者氏名	講座名	講座概要
1	地域学部	岸本 覚	青谷町山根地区の文化資源の発掘と活用 (地域の歴史と文化の再発見)	鳥取市青谷町山根地区は、原田帯霞・妙好人源左など鳥取の歴史の中で興味深い人物を輩出した地域である。とくに原田帯霞は、本講座担当の岸本が長年取り組んできた近世後期～近代の国学者・神職飯田秀雄・年平と深い関わりを持つ(資料集『加知弥神社飯田家資料稿』第1巻～15巻)。こうした蓄積をもとに、講座では原田帯霞の種痘普及の功績だけでなく、多様な側面を、そこに住む住民自らの手で発掘し、形にしていくことを目指したい。具体的な内容は、①古文書の解読と翻刻、②歴史資料の解釈方法の講義、③それらを取り巻く歴史的背景の解説、④歴史資料をいかした地域づくりの方法である。 講座では、山根の里づくり作業部会と連携して地元有志への呼びかけ、「2時間×5回=10時間」の講座を計画している。
2	地域学部	村田周祐	失われつつある在地知の継承と再創造(リノベーション) (智頭の山から木材以外の糧を得るためのリカレント教)	智頭の山中には、薬草、花木、山菜、きのこなど、木材以外の山の恵みが多く存在している。しかし、それらを同定・育成・収穫・加工・利用する術は家や職場に閉じられてきた。その結果、後継者不足のなかで、その在地知は消滅の危機にある。 そこで、本プロジェクトでは、移住者を中心とした20～40代から構成される次世代の智頭林業の担い手集団である「智頭ノ森ノ学び舎」を母体に、山中での実技を中心とした「山から木材以外の糧を得るためのリカレント教育(8時間×年7回=56時間)」を実施する。また、在地知の継承にとどまらず現代社会のニーズに応じた創造おこなっていく。

No.	部局名	代表者氏名	講座名	講座概要
3	工学部	小野 勇一	ものづくり指導者養成講座 (地域ものづくり教育活動関係者を増やし、より充実した教育環境を目指す)	<p>地域の幼児・児童・生徒へものづくりを指導する、指導者を養成するための講座です。一般・大学生を対象とした「指導者養成講座」と、中学・高校生を対象とした「ジュニアリーダー養成講座」に分けて実施します。これらの講座については、本実施組織に参画する田中准教授を含めた当学の教員や元教員が主に講師を務める予定です。</p> <p>○指導者養成講座（一般、大学生対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎講座（必修）2時間 ・指導法（必修）2時間 ・専門講座（選択）2時間×2回＝4時間 ・実地演習（必修）4時間 <p>○ジュニアリーダー養成講座（中高生対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎講座（必修）2時間 ・指導法（必修）2時間 ・専門講座（選択）2時間×2回＝4時間 ・実地演習（必修）4時間 <p>○応用講座</p> <p>既受講者を対象に2時間の講習を実施します。</p> <p>専門講座は年度内に、紙・布工作、木工、金工、機械、電気・電子、化学、食品、家庭、農学、工場見学などの内から4～5講座開講し、受講者はそれぞれが2講座を受講します。専門講座については、ものづくり道場と関わる方などといった、地域の方へ講師を依頼する予定です。</p>
4	農学部	松村一善	公開講座 農業経営スキルアップ講座 (～情報を活用した農業経営管理を学ぶ～)	<p>本講座は、5つの単元で構成されている。各単元は、農業経営管理のPDCAに則した「農業簿記」、「農業経営分析」、「農業経営計画」に関する講義・演習ユニット、商品企画の手法を学ぶ「マーケティングリサーチ手法を活用した商品企画」、農地資源管理・合意形成場面でのGISの活用を学ぶ「GISを活用した農地管理」で構成されている。各単元は理論に関する講義、理論を事例に適用する演習からなる。各単元は1日(7時間)で完結するようにしており、受講生は、各自の関心にあわせて特定の単元を受講することが可能である。</p>

No.	部局名	代表者氏名	講座名	講座概要
5	農学部	竹村圭弘	公開講座・ナシ栽培生理講座 (ナシ栽培生理講座)	本活動は鳥取県の梨生産者に対して、鳥取大学で開発した技術や品種についての講義を実施し、産地の活性化に寄与するものである。 講座の開催回数及び各回の講習時間 「5時間×4回=20時間」